

H17.

1月4日

志の高い経営をする

1月分

お正月なので夢のある理想的なことを書きます。今年も1月11日に経営計画発表会を行ないます。発表会で全社員に数字と方針を定行していくるよりに協力をお願いするわけですが、一番の目的は、経営計画書に書いてあることを全社員が実践して、人として成長してほしいということです。人は弱いものですが、計画書に書いてあることを実践していくと、チェク機能があるので、自然と人柄がよくなり、礼儀正しい、立派な日本人になると確信しております。立派な人肉の多くなる立派な会社になりたいと思っています。

最初から立派な会社はなりわけですが、まが立派な会社になりたいと心から思っている。立派な会社になるための努力を日々行つてはじめて会社は立派になると思っています。そのための動具が経営計画書です。

会社としてやるべきことを、①お客様 ②社員 ③商品サービス④社会の4つに分けて、経営の品質を高めます。

① お客様満足

全社員がどうしたのもっとお客様に喜んでいただけるか常に考え、商品サービスを工夫します。私達は目次決算というあまりまへの商品をお客様にわかりやすく、誰よりも熱心に説明させて頂きます。お客様のためによろしくお出しなさいなことはいつもあります。中小企業経営者のち々と仕事をし、会社の成長拡大と安定のために貢献したいと思っています。そのために私達はお客様の参考になれるような立派な会社になります。

② 社員満足

毎年10人位づつ社員は増えていますが、毎年何人かの人が辞めていきます。経営の根幹が人の成長であるので、社員満足はお客様満足と同じに大事です。これではいつも悩んでいます。いつも遅くまで働いてくれる社員本当にありがたく感謝しているのですが、もっとスピードを持って仕事を早く帰れるのが、実力のつく指導法がないのか、いつも悩んでいます。社員が夢や希望を持って働ける会社でなくては意味がありません。これは大変直り課題で、全社員の協力なくして、多くの人のアドバイスを大切にして実現します。

③ 商品、サービスの改善

商品サービスは常に改良して行きます。キーワードは、独自性です。自分達の頭で必死になつて考え、コンピューター会社の作った商品とは違うものを提供します。常に新しいサービスを考え、実行します。そして、よいものがあつたが即真似をして取り入れ、徹底して実行します。

④ 社会貢献

仕事は人様の役に立つためにあります。利益を出して、多くの社員を採用し、多くの社員と頭前清掃、トイレ清掃をできるだけ多くの寄付をする会社になります。

今年も多くの社員と一緒に仕事の出来る喜びでいつもです。上記の4つのことを実行し、志の高い立派な会社になります。本年もよろしく願います。

古田士 満